術前化学療法の際のセンチネルリンパ節生検の扱い

現在のところ、術前化学療法を行なった後の、センチネルリンパ節生検の有用性については明確なエビデンスがありません。化学療法を行なうことによって、リンパ節にあったはずの癌もなくなってしまう可能性があり、またリンパの流れ自体が化学療法の影響で変化する可能性があります。

したがって、術前化学療法を行なう場合には、治療開始前にセンチネルリンパ節生検を行なっておき、正確なリンパ節の状態の把握(ステージング)をしておく必要があります。局所麻酔を用いて日帰りで手術も行うことも可能です。しかしながら、治療前から、腋窩リンパ節への癌の転移の可能性が指摘されている方は、センチネルリンパ節生検の適応とはなりません。